

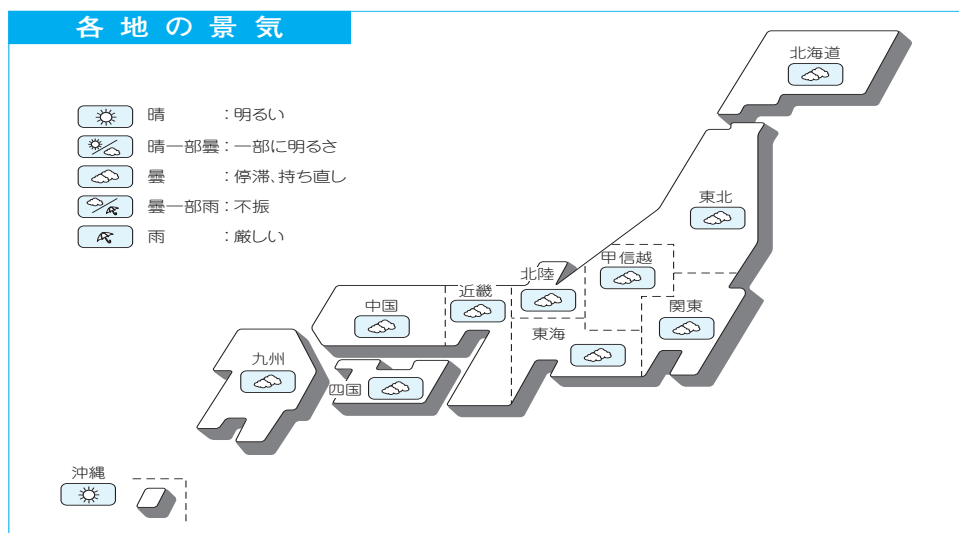
全国地方銀行協会

地方経済天気図

(平成28年4月発表分) から

個人消費が振るわず、足踏み

1. 各地の景況感



- 北海道、関東…生産は輸送機械、一般機械が減産。輸出はアジア向けが減少。
- 東北、北陸…個人消費は乗用車販売、大型小売店販売ともに減少。住宅建築は上向き。
- 甲信越、九州…設備投資は弱含み、公共工事も低調。生産は電子部品が減産。
- 東海、四国…大型小売店販売で衣料品が振るわず、乗用車販売も減少。生産は輸送機械が減産。
- 近畿、中国…輸出は弱含み。住宅建築は上向き、観光も好調。
- 沖縄…観光は国内客、外国人客ともに増加し、好調を持続。個人消費も持ち直し。

2. 東北の状況

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸 出	生産活動	観 光	雇用情勢

東北の景況は、雇用情勢が回復に向けた動きにあるものの、個人消費、輸出が弱含みとなるなど、横這い。個人消費は、スーパー販売が飲食料品を中心に増加したものの、百貨店販売、乗用車販売が減少し、弱含み。住宅建築は、持家、貸家、分譲住宅いずれも増加し、上向き。設備投資は、需要の先行き不透明感から、一部に投資抑制姿勢がみられ、伸び悩み。公共工事は、国、県、市町村が減少し、減少傾向。輸出は、アジア向け非鉄金属、中国向け一般機械が減少し、弱含み。生産活動は、一般機械、電子部品・デバイスが減少し、やや弱含み。観光は、温泉地、観光地への入込客が増加し、上向き。雇用は、卸・小売業、製造業で新規求人数が増加するなど、回復に向けた動き。先行きは、横這い圏内の動きが続くとみられている。

(おことわり：本ページのデータ元である全国地方銀行協会の発表内容変更に基づき、今月号より記載内容を変更いたしました。ご了承願います。)

(全国地方銀行協会「地方経済天気図」4月13日発表分より抜粋)